



日刊 發行所 常磐新聞社 印刷所 常磐印刷局

定部金五圓 一月五圓 半年三十圓 一年六十圓 廣告費 每行一圓 每字五分 印刷費 每日五圓 電話 六三〇番

刊々日八月七

公德心に就て

寄 書 警陽辻人

先頃來帝都復興記念に際して偶然にも公德促進運動が起り、帝都から更に地方の都會にも波及して行つたしかもその公德運動なるものは、折角復興した都市の美觀を主眼とし公園道徳の清浄化が行はれた美しいものは汚したくないのは人情であるから、帝都清浄運動が起つたのは自然の現象であらう勿論これが一時的の御祭騒であつても決して悪いことではないその運動や宣傳が市民否日本人一般のこの方面に於ける缺點を自覺せしめ反省せしめたこ

とは少くない唯それがどこまで永久性を有するかは問題である、歐米の社會を實際に視察して來た者は何人も日本人の公德心の缺乏を痛感するのである。西洋に於ける公園が花卉が折り取らるゝ心配もなければ芝生を荒らされる恐れもなく紙屑がチャンと一定の籠の中に投げ込まれて居ることは日本の公園が荒らされ紙屑がまき散らされて居るとの比較にならない。又日本の往來は芥捨場の如く自分の家の前に汚いものがあればこれを他人の家の前にすてゝ來るこれ等共有物に對する義務が先般の公德運動の際先づ氣附かれたのも當然である。更に一般公衆に對する公德も後れて居るこの

公衆道徳がいかに我國に於て發達しないかは何人にも分る每半行はれる觀菊觀櫻の御會の時には主として勅任官以上のものが召されるのであるが禮裝の紳士時としては淑女が御下賜の茶菓を奪ひ合ふが如き醜態は西洋には見られないであらう

常磐文藝

思ひ出

飯村閑舟

思ひ出深い
銀庭の宵の
そよ風の歩み
ホプラはなびく
電灯は光る
ヘットライトは
あやをなす

コルクク踏んで
歩みよる
ニコライドの
牧師の影は
おごそかにゆかし
鐘は駿河の
臺に鳴る

省線電車の
ホームに立てば
リュックサックを
背に帯びた
ボーイスカウドの
うひうひ姿
夏の山が
樂しがる

眼鏡

トキハヤ

平町二丁目

清楚な食道 サロン
明るい サロン
洋酒は サロン
田町通り
清楚な食道
電三五二

サロンの公休日は毎月「第三火曜日」に変更致しました

無料 検眼 TOKIWAYA

御客様本位
.....良品廉賣
.....商品豊富
.....親切丁寧
.....即時調整
.....示度正確

近視 老視 乱視 斜視 遠視

無料検眼開致シマシタ
専門眼科醫師擔任

眼鏡部 電話三三九
無料検眼券御利用下サイ

平町一丁目 常盤屋時計店

外科 専門線光

上田外科醫院

電話一八九番

専門 内科一般

川井内科診療所

電話 七二二番

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

開業廣告

今般共融社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヘマ
スニ付御用命ヲ希上マス

金融、土地建物、電話其他ノ仲介、
貸金の取立及賣掛代金整理
..... 家出人ノ捜査婚姻其他ノ身本内債
本社 石城郡平町字十五丁目十二番地

共融社

元平警察署刑事係部長
主幹 青田保太
電話(呼出)八〇四番

ブラヂルの味のする
コーヒをめし上れ
純粹モカコーヒが入荷し
おります

森永モルトコーヒ

百グラム入一圓 卅五錢

目丁四平
ヤトモツマ
番四一二話電

廣告は安價で交身の... 本紙を... 昭和五年七月九日... 常磐新聞社

荒川平署長の 値下の勧告

先づ第一着手に

理髪料と湯銭を

不景氣の渦巻きに襲はれて諸物價は下落する一方なのに平町に於ける湯銭や理髪料が好況

時代の 料金其儘に据え置かれ一向値下の模様がないので此點に着目した

荒井署長は一般人の生活力緩和の一助にも近く兩組合の役員を平署に招集し値下勧告を爲す由であるが右に關して荒井署長は語る「理髪料の如き當然値下げ

さるべき等であるのに未だ其模様が見えないのは遺憾である、殊に湯銭は目下の處値下後の東京と同額であるが平町は炭礦地を控へ燃料が豊富で然も他地方よりは安値であるのは是れも値下されないのであるうゆふ譯かと思ふ故に近く兩組合の主腦部とよく協議を遂げて見たいと思つて居る」云々

昨日の平町徴兵検査

甲種合格が五十四名

成績例年よりも優秀

花柳病者は本籍絶無

平町壯丁の徴兵検査は六日學術試験、七日體格検査を執行したが執行官は佐藤福島聯隊司令官にて壯丁數は本籍者百廿六名寄者六十一名にて各等位左記の如く

等位	本籍	寄留
甲種	三五	一九
第一種	二九	一〇
第二種	一五	一八
丙種	三九	一九
丁種	八	五

甲種の合格率は昨年に比較し頗る優秀なる成績を示した次ぎにトラホームは重患

伊藤吉太郎、橋五郎、橋武、深谷四三郎(鎌田町)猪狩數三、小林隆雄(新川町)佐藤千代松(一月見町)原野五郎(正月町)渡邊正美(鍛冶町)吉田爲吉(南町)酒井定一、鈴木勝好、佐々木利久(舊城跡)野口武男(白銀町)小松良平、中田政夫(番匠町)桑榮(北目町)石川二郎、猪狩喜一、鈴木増雄(胡麻澤)高田信雄(六間門)大江文吉(久保町)金成章(柳町)井上榮市(田町)藤田文夫(材木町)森清一郎

寄留者(立町)松本光次(長橋町)中村藤一(一丁目)加藤善了(立町)丸山茂春(番匠町)鈴木由藏(立町)程塚周四郎(彌富町)湯田兵一(胡麻澤)上原安太郎(南町)福田三郎(堤の内)稻葉清(田町)下川金太郎(月見町)堀江清(材木町)池田慎三(研町)江尻清九(掃帚小路)山崎安治(材木町)藤野貢(久保町)引地定義(三丁目)佐野常太郎(二丁目)二宮芳雄

藝妓の小便を...

頭から浴びた怪漢

夏の夜更の狹斜の巷に

ナンセンス泥的現る

平町新出町藝妓屋久本事久保ヨシ方の藝妓が七日午前二時頃便所にて尿尿せる處くみ取り口から一名の男が慌てふたのいて逃去したので藝妓は反つて吃驚し同家より平署に此旨届出たが多分如上の怪漢は窃盜の目的にてくみ取り口から忍入せる處を此始末に及んだもの、如く更らに同怪漢は具足で附近の請負師猪狩菊三郎方の二階の窓から忍び込まんとして隣家の婆さんに騒ぎ立てられ其儘何處へか逃走し去つた草履ばき類がむりの労働者風の男であると

水泳を教授

四倉町にて

石城郡内の海水浴場開きは廿日の土用入り頃になるらしく四倉町では青年團が十五日頃から水泳練習所を開いて無料で水泳を教授すると

平町壯丁除隊

若松歩兵第二聯隊橋二郎君(立町一三)は九日午後三時五十三分平着、大坂歩兵卅七聯隊岡部廣君(長橋町一八)は十日午後一時五十一分着にて歸隊除隊すると

平町會

戸數割を決定

平町會は既報の如く本日午

明大生實は小泥棒

澤渡村にて逮捕さる

平町の自動車業者を悩す

昨日朝石城郡澤渡村下市管内を明治大學の正服を着しロード眼鏡の青年が徘徊して居たのを永山駐在巡查が不審を抱き取調べた處、同村の佐川一郎(九)假名として自動車運轉の助手とし本年五月以來平町の各自動車部を轉々し其部度小泥棒を働いて居た事判明本日署に引致猪狩刑事取調中であるが犯罪は平町一丁目松崎自動車部からレンコート及び現金等を窃取した外十數件に及ぶと

益唄の募集

以外に多い

平町田町青年分團の益唄懸賞募集は其後益々好成績で既に百以上の應募歌あり来る廿日の締切日迄には相當數に達するであらうと因に應募歌は一葉の葉書に三句宛記入すべき規定であるのに五句以上を連記する者等ない爲めと見られるので近く同分團が募集規定を印刷に附し一般に配布すると

新川べりの家屋

改修工事に支障

平町新川の改修は悪水防衛組合の經費が不足の爲め行橋みとなつた折柄製菓會社附近に家屋を建設すべく地

常磐片々

藝妓の小便を浴びた怪漢、大抵考へ直してよさうなもの、又一軒襲ふとは執念深い
去りとは此男蛙の性か
不景氣の齟らした好影響、平町の壯丁に花柳病絶無
親の心子知らずやと荒井署長値下げの勧告
明大生の制服を働く
流石に今日此頃「ヒロイモ」に目星しいものなし



明日の天気 北東の風曇りがち時々薄日も見える

△前九・一〇 料理献立 『薩摩芋のふくませ』常野 文子發表 日用品値段 『砂糖と粉類』 △前一〇・三〇 家庭講座 『富士中心の景勝』(一)谷 口梨花 △後〇・〇五 連続講談 『次郎長外傳安倍の血煙』 第三講、神田伯山 △後六・〇〇 子供の時間 『ゴドモの研究したお話 四つ』仙台市立明小學校

子供の…… 研究したお話

(子供の時間)

今までおならひした讀本 三年 小野又三郎 私どもはだん／＼えらくな つて來ます、それは私ども のすきな本をよむからで す。私はなつかしい一年の 一かんと二かんと三年の三か んと四かんとそれから三年の 今日までおならひした、讀 本をふりかへつてえらいと 思つたことやおもしろいと 思つたことなどをこれから お話して見ませう。 二、廣島から佐世保仙台と くらして 五年 武田廣子 私の父母の郷里は山形でございませう、けれどもその父 母の生れた土地には物覚え するやうになつてから昨年 行つたきりです、で私とし

造り方のお話を聞えてから これもこしらへて見てやつ と造り上げるのが出来ま したその後尚研究して今で は面白いものもたくさん造 る様になりました、そのう れしさを思ふにつけ、皆様 にもおすゝめ致したいと考 へます。 常野文子發表

▽調理法 新さつま芋の太 いのを輪切五分の厚さに廿 五個切つて皮を厚くむき一 錢銅貨位の大きさにして井 に水一合鹽大匙三杯焼明礬 大匙三杯を入れた中に卅分 つけておき籠にあけてニユ ーム鍋で三分間茹茹でて水 にさらして再び籠にとつて 置きます、ニユーム鍋に水 八勺白砂糖大さじ七杯鹽大 さじ三分の一を入れてトロ 火にかけ煮立つたならば芋 を入れ美濃紙を鍋の丸さに 切つて芋に被せ五分間煮て 火より下し鍋のまゝ水につ けて冷し冷たくなつたらば 器に五個宛盛ります

てのなつかしい土地と申し ますのはあの中國第一の都 會の廣島とあの軍港として 有名な九州の佐世保とやが ては思ひ出の土地となるべ きこの東北第一の都會仙台 でございませう、只今から此 の三箇所の地を歩いて小さ い私の目にうつりましたこ とや心にひいたことを少 しばかり申し上げて見度い と思ひます 三、簡單なラヂオ受信器の 造り方 六年 東條友喜 私は小さい時からお父様に 器具を買つていたゞきこれ をほどこしてから色々工夫し て又もと通り組立てること に興味を感じてゐました感 時ラヂオで簡單な受信器の

にい、學校だと思つてゐま す、前には廣瀬川が流れて 居り川の向ふには高く青葉 城のあつた天守臺がそびえ てゐます、春は櫻葉は青葉 秋のみみぎの雪景色など 四季をり／＼のながめが如 何にもきれいであります、 所が此の美しい景色の中に 更に色々の深い歴史までが こもつて居りますので開け ば聞く程感興がわいて一層 學校附近のありがたさが感 じられます、私はこれから この學校附近の歴史につい てお話を申上げます

富士山を心中の景勝地 何處からよく見よ

秀麗な富士の姿は或日は本日のシボルであり世界の憧憬でありま す、この美しい富士山を中心として、富士の姿を前背景添景とする景勝地は關東地方から、東海地方にかけて可なり廣い範圍に亘つて居りますのでそれら各々の景勝地に就てお話 することは出来ませんが 近い範圍 では先づ 三浦半島、湘南地方から 箱根伊豆の温泉郷田子の浦 曲三保の松原かけての東海

の名山甲斐方面さうした景 勝地に就いてのお話をし て 見たいと思つて居ます、富 士と云へば私達は業平を思 ひます、西行を思ひます芭 蕉を思ひます 其他頼朝 曾我兄弟 角行一九北齊廣重など富士 と關係深き斯うした人々に 就て考へて見るのも面白か らうと思ひます、富士は登 つても面白く麓をめぐつて 面白く又遠く離れたところ から眺めても面白いもので あります、海上や海岸より 見た富士半野から仰いだ富 士高山に登つて點頭さあふ 富士皆それ／＼に趣が變つ て面白いものであります、 北齊は其富嶽三十六景や 富士百景 に如何云 ふ場所を選んで富士を描い たか廣重はその東海道五 三次や富士名所三十六景に 如何云ふ場所／＼を選ん 繪にしたか、それを調べあ げて、所謂富士觀賞の勝地 を点検して見るのも面白い ことではありませぬか。鹿 の山や霞ヶ浦、御坂越、鹽 尻峠、諏訪湖、尾州不二見 原など北齊や廣重も可なり 遠い處よりの富士觀望の勝 地を描いて居りますか明治 大正時代 に入つて から世にうたはれた富士觀 賞地の精進バラマヤ三つ 峠、筑波山、日金山十國峠 乙女峠、長尾峠、日本平な ど無論二人の筆には洩れて 居ます、廣重は伊勢の二見

幾世橋醫院 相馬中村 電話一三〇番

磐城タクシーへ 電話四五四番 平驛前

都染廉價提供 一組 金拾壹圓 貸料一回 金五圓

和食卓覆ひは、和久井屋 宇佐美藥局 電話四〇五番

漏れなく責任配布 〇チラシは百枚に付十五銭

食用水販賣

速敏達配



魚問屋

目丁四平
屋問魚屋市丸
番三一 二話電

移轉廣告

店舗改築中三丁目横町、藤市蒲鉾店向へ一時移轉致しました

移轉中大特賣

夏トロンビ 大見切
合着セビロ
作業ズボン 六十銭
小學生通學服 五十銭
夏セル 上着四圓五十銭
黒セル 上着三圓八十銭
鼠セル 上着三圓八十銭
男女ゴム引マント 一圓十五銭

◆中學生通學服、小學生學服特賣

平町三丁目通

假營業所 **正札堂洋服店**



愈々海水浴のシーズンは來ました

皆さん

是非……四倉脱衣所組合へ

本年は不況の折柄特に

平、四倉間……自動車往復……食券付

一枚 **金九十五錢**

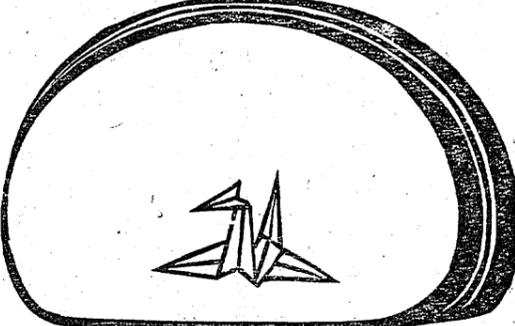
但し團體の際は特に御相談に應じます

○期間……七月十日ヨリ……九月十日マデ

申込所 平町田町 **初音**

電話二二六番

鶴印特製最中



大鶴屋菓子店

番四〇七話電 下園公町平

小店員募集

江戸前料理 会堂

築前博多名物

鳥の冷し博多煮

あわびの料理

ぜし一度御試食下さい

出前迅速 **錦水**

田町末廣東隣り (電話四二二番) (呼出八〇三番)



國産精工舎製

腕時計セイコー

提時計エンバイヤ

平町五丁目

特約店 **金光堂時計店**

年齢十四五歳位の小店員三四名募集

電話三七六番

銘 星ノ井

酒 金星

星酒造店

相馬鹿島

全速服のパン

商標 平町南町

喫茶部新設

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町

看護婦會

電話三〇七番

種々体言

寒痰計

蘭大藥局

電話三〇番

淋病 梅毒

淋病 皮膚病 婦人病

門專

腸虫病 十二指腸病

村松

腸病科 胃性病科

院醫科 (平町南) 電話七〇一

手藝夏期講習會

一、講習科目

- 佛蘭西刺繡科
- ドロンウワーク科
- カトウワーク科
- リボンアート科
- フライヤー刺繡科
- 千草糸編物科
- フレチフラワー科
- リボン細工科
- リボン刺繡科
- 毛糸編物ノ研究科
- マクラメレス科
- 折紙及水引ノカケ方科
- 染色科

以上の外希望に依り「區限刺しゅう」「クレープ細工及クレープ」の摘み細工レース編物、子供婦人製帽毛糸刺しゅう、「ピース刺しゅう」等も講習することを得

一、講習料

金壹圓五十錢也 希望の科全部を兼修せらるゝも講習科は別に頂きません

二、會場

平陽女學校 石城郡平町

四、會期

八月一日より八月五日迄五日間(毎日午前八時より午後三時迄)

五、申込期限

可成七月廿五日迄御申込下さい、但し講習開始當日迄にてもお支ありません

六、證書

講習終了者には講習證書を授與いたします

講習開始の當日は各科の製品見本を陳列いたしますから篤と御覽を願ひ然る上に於て選定せらるゝも差支ありません

主催 平陽女學校

電話四四五番(振替仙台五六八二番)

内科 醫學博士 木村小太郎

小兒科

内科 院長 齋藤 齋

婦人科

×光線科

入院隨時 原町 **齋藤病院**

電話一二九番